

報告事項カ

第30回国際生物学オリンピックハンガリー大会における銀メダル受賞について

第30回国際生物学オリンピックハンガリー大会における銀メダル受賞について、別紙のとおり報告します。

令和元年8月8日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 第30回国際生物学オリンピックハンガリー大会における銀メダル受賞について

令和元年8月8日  
高等学校課

1 開催期間 令和元年7月14日（日）から7月20日（土）

2 開催地 ハンガリー セゲド

3 参加者 4名（日本代表）

小野 俊祐（おの しゅんすけ）	鳥取県立鳥取西高等学校	3年
椋木 優斗（むくのき ゆうと）	灘高等学校（兵庫県）	3年
長谷川 修造（はせがわ しゅうぞう）	灘高等学校（兵庫県）	2年
星野 敬太（ほしの けいた）	栄光学園高等学校（神奈川県）	2年

4 参加国数／人数 72か国・地域／285名

5 受賞状況

小野 俊祐	鳥取県立鳥取西高等学校	銀メダル（51位）	日本代表中、トップ成績
椋木 優斗	灘高等学校（兵庫県）	銀メダル（56位）	
長谷川 修造	灘高等学校（兵庫県）	銅メダル（91位）	
星野 敬太	栄光学園高等学校（神奈川県）	銅メダル（107位）	

### 【参考】

#### （1）大会概要

・国際生物学オリンピックは、生物学に関心を持つ高校生等を対象にしたコンテストで、以下のことを目的としている。

- 生物学的問題の創造的な解決方法により、生物学的研究への活発な興味を鼓舞する。
- 生物学教育に関するアイデアと教材の交換を推進する。
- 生物学を学ぶ学生間での定期的な国際的交流を推進する。
- 様々な国の若者たち同士の友好関係を樹立し、それにより国家間の協力と相互理解を促す。

・1990年に現在のチェコ共和国にて第1回大会が開催され、日本は、2005年から参加を開始し、毎年4名の選手を派遣。本年は15回目の参加。

#### （2）過去3年間の日本代表の成績

大会	受賞状況	参加規模
2016年（第27回ベトナム大会）	金メダル1名、銀メダル3名	68か国・地域／263名
2017年（第28回イギリス大会）	銀メダル4名	64か国・地域／241名
2018年（第29回イラン大会）	銀メダル2名、銅メダル2名	71か国・地域／269名

### (3) 生徒情報

○小野 俊祐 (おの しゅんすけ) 鳥取県立鳥取西高等学校 3年

<1年>

- ・平成29年度鳥取県高校生理数課題研究等発表会 口頭発表 優秀賞  
「ニホンモモンガはなぜスギの樹皮を巣材として好むのか」
- ・第7回科学の甲子園全国大会出場  
筆記競技において独創的な発想で最も優れた解答をした優秀校1校に贈られる「AGS 賞」を受賞

<2年>

- ・平成30年度鳥取県高校生理数課題研究等発表会 口頭発表 最優秀賞  
「スナヤツメの砂泥中に見られる特異的行動」
- ・第8回科学の甲子園全国大会出場

<3年>

- ・令和元年度鳥取県高校生理数課題研究等発表会優秀者派遣事業において、アメリカ合衆国バーモント州に派遣 (令和元年5月31日 (金) から6月7日 (金) まで)